

案件名

No. 8 第5次都留市長期総合計画基本計画(案)

募集期間

平成18年2月1日(水)～22日(水) 終了致しました

担当課

政策形成課 企画担当 0554-43-1111(内線241)

意見数

10件(2人)

寄せられたご意見と都留市の考え方

平成18年2月1日(水)～22日(水)までの間、意見の募集を行いました。寄せられたご意見の概要とこれに対する市の考え方を下記のとおり公表します。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

項目	寄せられた意見の概要	市の考え方
分野 3(1)	<p>輻輳する情報社会、価値観も多様化している 21 世紀に生きる市民は、協働のコミュニティを成立させるために、「市民総読書運動」を展開する必要がある。</p>	<p>市民の読書運動を推進するため、P23 の事業名「図書情報提供サービスの充実」の中に盛り込みます。 「修正の内容」 P23 の事業内容中「市民が必要とする」を、「市民の読書活動を支援するため、図書」に改めます。</p>
分野 3(5)	<p>「こども条例」を制定して、学童や幼児を健全に育成するため、家庭・地域・学校・行政の連携を密にする。</p>	<p>P25 の「子どもの権利の確立」の中には、「(仮称)こども条例」の制定も含めて考えていきます。</p>
分野 3(5)	<p>毎日、多くの子どもたちの「いのち」が理不尽に失われています。この「いのち」を大切に教育を推進してほしい。</p>	<p>上記の「(仮称)こども条例」の中では、市民の意見が生かされた「推進計画」を策定することになりますので、ご指摘の問題も推進できるものと思います。</p>
分野	<p>P16 の「ボランティア活動参加者数」の数値目標は、ボランティア連絡会登録数だけで見るのではなく、未加入のボランティアも含めてほしい。</p>	<p>この「ボランティア連絡会登録数」とは、現況値を算出するための一つの方法なので、未加入のボランティア数の把握ができれば可能だと思います。</p>
分野 1(1)	<p>P17 の市の役割である「教育首都つる」推進に向けての新拠点の整備とは何ですか。</p>	<p>都留市青少年総合対策本部を中心として、ご指摘のマニュアルの策定等検討してまいります。</p>
分野 3(1)	<p>児童憲章で保障されている「子どもの遊ぶ権利」を尊重し、“群れて遊ぶ”ことから子ども達が学ぶことを奨励すること。</p>	<p>P18～20 にあるように、「教育首都つる」推進に向けての新拠点の整備とは、本市の政策の一つであり、これを実現するため、3 つの施策を掲げ、15 の事業を執行していきます。</p> <p>具体的には、P18 のとおり、市民の生涯学習の場、大学教員・学生・研究者等の研修宿泊施設、サテライト教室など多目的な機能を有する複合施設の整備について、民間との協働を検討しつつ、進めていこうというものです。</p> <p>最終的には、P16～17 にあるように、「市民の役割」、「事業者の役割」、「市の役割」をもって、「教育首都つる」を育てていこうというものです。</p>
分野 3(5)	<p>P25 に、「こどもの権利条約」をうたっているが、どのように実施するのですか。</p>	<p>平成 6 年、国は、「児童の権利に関する条約」を結びました。本市においても、この条約の趣旨を啓発するとともに、社会全体で子どもたちを育てることについて、市民全体での合意形成を図り、子どもの権利が確立できる方策を考えていこうというものです。</p>
分野 1(3)	<p>P31 の市の役割である「地域資源を活かした」とあるが、寺院、文化財などの資源の活用や、市外に向けての PR も不足しています。</p>	<p>P32～35 にあるように、地域資源を活かした政策として、4 つの施策を掲げ、25 の事業を展開し、交流産業を創出していきます。</p> <p>また、PR については、P34 に、事業名を「交流産業の PR と推進体制の整備」として位置付けています。</p>

項目	寄せられた意見の概要	市の考え方
分野	P44の「一人1日あたりのごみ排出量」の目標数値は、積極的にごみ減量化を進めようという意思が見えない。	ごみ排出量につきましては、核家族化などにより今後増加も予想され、これを抑え、さらに当座の目標として 1,000 g を下回るよう積極的に推進していくものです。
分野 3(1)	P45の事業者の役割の中の「自動車の利用をできるだけ減らしましょう。」という投げかけは、現場を踏まえて疑問です。	地域全体で二酸化炭素削減をめざすためには、自動車の利用をできるだけ減らす必要があります。そのため P54 に、「省資源、省エネルギー意識啓発」として位置付けています。
分野 4(1) 1(1)	レジ袋の廃止又は活用、買い物袋持参の取り組みが見えないし、積極的にごみ減量に取り組む姿勢が文章からも読めない。	レジ袋を含めたごみ減量化の問題については、P55の「ごみ減量・リサイクルの推進」の中に位置付けています。また、18年度には市民の意見を取り入れる中で、P46の「環境基本計画の策定」に個別具体的に検討してまいります。

関連情報

[都留市長期総合計画](http://www.city.tsuru.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=3048)

(http://www.city.tsuru.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=3048)